声を合わせる楽しみを　福井センター合唱団

福井センター合唱団の皆さん。前列左から4人目が代表の清水雅美さん。右端が小竹美樹子さん＝いずれも坂井市の春江東コミュニティセンターで

福井市や坂井市を中心に、県内各地から愛好者が参加している合唱団。団員は小学生から80代までの男女27人。コロナ禍の中で練習方法を工夫しながら、「楽しく歌おう」「歌うことの素晴らしさを伝えよう」と声を合わせている。

コロナ禍では、以前のように集まっての練習が難しくなった。動画サイトを使った自主練が中心になり、オンラインの会議ツールを使ったリモートレッスンを行ったり、全国規模のオンラインイベントにも参加したりと、困難に打ち勝とうと積極的に活動している。新しい取り組みも生まれた。その一つが「チェーンボエム」という集団創作。グループラインを使って、歌詞をつなぎながら歌作りをした。団員の創作意欲も活発になり、33曲のオリジナル曲が生まれた。「これまでは提案があってもなかなか実現できなかった取り組みを、皮肉にもコロナ禍だから実現することができた」とメンバーは前向き。感染状況が落ち着いてきて、今は練習会場をやりくりしながら、月2回、顔を合わせて練習している。やっと集まれた練習日にはみんなで歌える喜びを再確認したそうだ。

昨年からボイストレーナーの小竹美樹子さんの指導を仰ぐようになった。小竹さんが「口の奥をもっと開けて」「目をパッチリ開け、眉を上げて」など、体の部分を意識しながら歌うよう指導すると、声に響きが生まれ、豊かで力強い合唱へと進化していくという。「合唱は声が重なることで美しい響きが生まれ、心を合わせることの素晴らしさを感じられる。『合唱っていいなぁ。ここで歌いたい』と思える合唱団を目指している」と代表の清水雅美さんは話し、「来年の春には、今年開催がかなわなかった定期コンサートをぜひとも開催したい」と意気込んでいた。

レッスンの様子

団員募集中！
興味のある人は、一度見学に。
☎090-2030-0845（代表・清水）

深まる秋にお薦めの1冊

福井が舞台の推理小説

著者の津田友紀さん

永平寺町在住の女性が書いた推理小説が面白いと話題を集めている。書いたのは津田友紀さん。教員生活の後、私塾で英語教師を務める傍ら、自主企画グループ「group Maestra（グループマエストラ）」を主宰して、演劇やコンサートなどの福井公演をプロデュースし、文化活動を実践してきた。本名は非公表、年齢も非公表だが「あえて言うなら"光輝高齢者"」と津田さん。

本を執筆したきっかけは、末期がんを宣告され闘病していた妹からの「最近面白い本が無いわ。お姉ちゃん、とびきり面白いのを書いて」という一言。妹は読書好きで、とりわけ推理小説が大好き。津田さんは学生の頃に妹の読書感想文を手伝って入賞したり、母校大学の校歌公募で優秀作品の一つに選ばれたりと、文章を書くことは苦手ではなかったが、「小説を書くとなると訳が違う。何てことを言いだすのやら」とびっくりしたそうだ。しかし、「懸命に病気と闘っている妹を少しでも励ますことができるなら」と、意を決してペンを執り推理小説「風の子守歌」書き始めたという。

章を書きあげるごとに闘病中の妹に届けたが、後半には文章を目で追う力もなくなり、謎が解き明かされる最終章には間に合わずに逝った。脱稿したものを東京の墓前に届けたのはその年の春の彼岸だった。3年目の今年、妹の娘の希望もあり書籍化。作品を読んだ友人たちからは日々感想が寄せられているが、「妹が読んでいたらどんな感想をくれたかしらと思う」と津田さん。

筆者も読んでみた。真犯人は誰なのか、意外な展開や登場人物の交錯にドキドキしながらページをめくった。地元福井の情景描写や登場人物もストーリーを身近に感じさせて引き込まれる。「書きたかったのは母という存在」と津田さんが話す通り、愛を基軸にした人間模様が時に切なく心に響き、読み終えた後にも不思議な安堵感が広がる作品だ。

「風の子守歌」（定価1,320円）は勝木書店二の宮店で販売していたが既に完売。永平寺町立図書館（松岡）で読むことができるほか、わずかなら手元に残っているそうなので、興味を持った人は津田さん＝☎0776-61-3188＝に問い合わせを。

福井で1番おいしいプリンを目指しました！

伊自良たまごを使った ぜいたく「ねっとろ」プリン

自然豊かな福井市美山地区で1961（昭和36）年に創業。以来、60年間卵の味にこだわる「伊自良（いじら）たまご」が今年9月、プリンを発売した。1日100個の限定販売。連日売り切れで、大きな話題になっている。

「卵の味を決めるのは主に鶏の餌。人は季節や体調に合わせ、毎日違うものを食べる。それは鶏も同じこと」と3代目社長の南部裕太郎さん（36）。一般的な鶏用配合飼料を使用せず、気候や鶏の成長に合わせた20種類以上の天然素材の原料を毎日独自に調合する。こだわりの餌で育った鶏の卵は、臭みがなく、うま味と栄養がたっぷりと評判だ。

そんな「伊自良たまご」の卵のおいしさを「もっと多くの人に知ってもらいたい」という思いから生まれたのが「coccoya（こっこゃ）のたまごプリン」（300円）。開発を任されたスタッフの夏目友美さんは、豊富な飲食店勤務の経験を生かし「福井で1番おいしいプリン」を目指した。工程は全て手作業。同社の卵黄を1・5個分とぜいたくに使用し、ミネラル豊富なキビ砂糖と、隠し味に煮切った三河三州みりんを使い、コクと自然な甘さを出した。食感は適度に硬く、ねっとりとろける「ねっとろ感」（夏目さん）が特長。そこにほろ苦いカラメルが加わり、卵のうま味を強く感じる、味わい深いプリンが誕生した。

福井市中央卸売市場にある「ふくい鮮いちば」内の直営店では、プリンのほか、卵やひきたてコーヒーも販売。

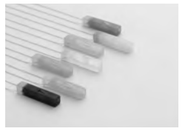
また11月からは新たなスイーツ「エッグワッフルプレーン」（350円）と「エッグワッフルパフェ」（味は生チョコバナナなど3種類で各680円）が味わえる。

アレンジセット

伊自良たまご直営店
coccoya（こっこゃ）
住福井市大和田1-101
福井市中央卸売市場
ふくい鮮いちば内
☎0776-58-7197
午前9時～午後2時30分
水曜・日曜・祝日
※インスタグラムで情報発信中

大切なあの人と自分に贈りたい防災笛

災害に巻き込まれた時、居所を知らせる防災笛。存在や重要性は知っていても、実際に持ち歩き「もしもの時」に備えている人はどのくらいいるだろうか。鯖江市のめがね工房「プラスジャック」が作る防災笛「effe（エッフェ）」は、毎日身に着けたくなる高いデザイン性と、いざという時に助けてくれる優れた機能性を兼ね備えている。


ネックレスタイプのeffe candy（エッフェ キャンディ）各4,180円。他にも多彩なデザインがそろう

キーホルダータイプのeffe pensiero（エッフェ ペンシエロ）3,300円から。金具部分を4種類の中から選べる

同社が眼鏡枠の素材として使用する植物由来のセルロースアセテートは、美しい発色、柔らかい肌当たり、軽さが特長で、身に着ける物に適した素材だ。防災笛を作るきっかけは、鯖江市防災課からの「アクセサリーのような笛ができないか」という依頼。当初は「音が鳴る仕組みも分からず、試作で音が鳴らなかったら依頼を断るつもりだった」という社長の津田功順さん（44）。やっと探し出した簡単な笛の構造図を基に試作したところ音が鳴った。「命を預かる笛。中途半端なもの作りはできない」と覚悟を決め、試行錯誤が始まった。

最も苦労したのは音作りで、県工業試験場に協力を依頼。瓦礫（がれき）の中からでも人の耳に届きやすい音、救助犬に聞こえる高い音が同時に鳴るようにし、高音でも不快でない音を目指した。瓦礫の下で弱った状態の人でも音を鳴らせるよう息の通りやすい構造にするなど工夫を凝らし5、6年かかって発売に至った。2018年にはグッドデザイン賞を受賞。ネックレス・キーホルダータイプがあり価格は3,300円から。ネックレスのチェーンは首に掛けたまま口に笛が届く絶妙な長さにし、万が一、何かに引っ掛かっても引っ張れば切れるよう細めにするなど「命を守る」心配りが詰まっている。購入者からは「こんな笛が欲しかった」と喜ぶ声が届く。オンラインショップや本社隣接の直営店などで購入できる。大切な人に贈りたい。

直営店
Plus Jack Shop（プラス ジャック ショップ）
住鯖江市御幸町1-301-11
☎0778-53-1885
午前8時15分～午後5時
土曜・日曜・祝日
※事前に相談があれば休日でも対応可能
駐あり
※ホームページで情報発信中

プレゼント

Hello!

私の町の新聞配達さん

毎朝、ポストをのぞくと届いている新聞。どんな人が配達しているの？　今回、福井市の中日新聞・日刊県民福井やしろ販売店で配達業務に携わって15年ほどになる福田昇平さん（39）に新聞配達の仕事についてやりがいや思いを聞いた。

Q 仕事を始めた当初のことを教えてください。
A 当時の先輩が丁寧に教えてくれたので、すぐ仕事を覚えることができました。心配だった早起きも、1カ月しないうちにさほど苦もなく目が覚めるようになりました。

新聞配達をする福田さん

Q 配達中、特に気を配っていることは。
A 基本的なことですが、「お届け先を間違えない」ということです。扱っている新聞の種類がいくつかあるので、正確に届けるようにしています。雨の日は新聞をぬらさないよう、読者さんが新聞を開くまで、きれいな状態で届けるよう心掛けています。

Q 大変なことは。
A 天候が悪い時ですね。ゲリラ豪雨の時は、しばらく空の様子を見て、おさまってから注意して配達します。悪天候の配達の後は、集金時にお礼を言われることがあり、心からうれしく感じます。配達時に晴れていれば、田舎の方ですごい数の星を見ることもありますよ。

Q やりがいや今後の目標は。
A お客さまに感謝されたとき、やりがいを感じます。地域の方と長年にわたりお付き合いできるのもこの仕事ならでは。僕自身、10年以上お付き合いのあるお客さまが増えてきました。今後はもっとたくさんの人に、新聞を読んでもらえたらうれしいです。また、やしろ販売店では現在、配達仲間を募集しているので、気軽に問い合わせください。

※価格はすべて税込み

個人情報保護法
さんぽみちではお客さまに記入していただいた個人情報は、さんぽみちとお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。

お知らせ伝言板

第1回レピヤンリボンアワード
最優秀賞作品「ときめきポーチ」

第3回レピヤンリボンアワード　作品募集中！

■応募締め切り日11月30日（火）　■作品テーマ「おめかしリボン」

身の回りのものを松川レピヤンオリジナルチロルリボン「レピヤンリボン」で飾る作品を募集中。オリジナル作品はもちろん既製品をアレンジした作品もOKで、一人何点でも応募可能だ。最優秀賞にはオリジナルチロルリボン40種を、越前箪笥（たんす）職人が作った専用箱に入れてプレゼント（5万円相当）する。

レピヤンリボンは松川レピヤン公式ウェブストアで購入できる。通常3,500円以上購入で送料無料だが、期間中は1,000円以上購入で送料無料。詳しくは「レピヤンリボンアワード」で検索を。

松川レピヤン
住坂井市丸岡町内田15-7　☎0776-66-0158

あったか塾　参加者募集

スワッグ（壁飾り）教室

日時　11月20日（土）
午前の部　午前10時30分～正午
午後の部　午後1時30分～3時
場所　JR福井駅西口ハピリン2階の福福小屋
参加費　2,000円（花切りばさみ持参）
対象　小学4年生以上
定員　各部15人（先着順）
講師　土田 愛さん（フラワーデザイナー）、土田 心さん

県産の植物を使い、スワッグ（壁飾り）を作ります。生花で作るので、飾っている間に徐々にドライフラワーになる過程も楽しめます。ヨーロッパでは古くから、空気の浄化や魔除けとしてスワッグが飾られています。

主催：日刊県民福井・中日新聞社
共催：福井市観光物産館福福館
問い合わせ・申し込み先
日刊県民福井事業グループ＝☎0776-28-8618
（平日 午前10時～午後6時）

簡単♥おいしいクッキング～

レンコンと豆のキーマカレー

【材料】（4人分）
牛豚合いびき肉……200g
レンコン……約200g
ミックスビーンズ……1缶
玉ネギ……1個
ニンニク、ショウガ……各1かけ
カレールー……3皿分
ブレーンヨーグルト……大さじ3
ウスターソース……大さじ2
しょうゆ……小さじ2
水……100cc
塩・コショウ……適量
サラダ油……適量

【準備】レンコンは7㎜角に切る。玉ネギとニンニク、ショウガはみじん切りにする。カレールーは固形の場合、包丁などで細かく刻む（フレーク状のものはそのまま使う）。

【作り方】
①フライパンにサラダ油とショウガ、ニンニクを入れ、中火にかける。香りが出るまで炒めたら、牛豚合いびき肉を入れて炒め、塩コショウをする。
②肉の色が変わったら、玉ネギ、レンコン、ミックスビーンズを入れてさらに炒める。
③②にブレーンヨーグルト、水を加えて混ぜ、なじませたらカレールーを入れて炒める。ウスターソース、しょうゆを加えて塩・コショウで味を整え、水分が無くなるまで炒めたら出来上がり。

ミックスビーンズ缶はサラダ用などのパックに入ったものでもOK！

使ってみたくなる？ 福井弁ミニ講座
方言は、県内でも地域によって異なります

近所の人との会話
A 朝方あの辺、ウオーキングせんときねや。
B なんでやの？
A こないだ熊出たんやって。
B おとろっしゃ！

意味
朝方あの辺、ウオーキングしない方がいいよ。
どうして？
この間、熊が出たんだって。
恐ろしいね！

ポイント
おとろっしゃ、おとろし＝恐ろしい

読者からのお便りコーナー

お題は「まだ間に合う？！年内にやりたいこと」

旅行に行きたい。コロナ禍で最近どこにも行っていないので、今年中に近場でいいからどこか行きたいです。（大野市 60代）

ユーチューブの「あとで見る」フォルダの動画を視聴すること。（福井市 20代）

車検代の貯金をしたいです！（越前市 40代）

卓球の試合で1勝したいです。（福井市 70代）

コロナ禍で自宅にいる時間が増えたため、どうしても運動不足に。今からでもランニングして身体をすっきりしたいです。間に合うかな？　お正月にはおいしいおせち料理、腹いっぱい食べたいですから。（あわら市 40代）

定期的に楽しんでいた女子会。このところなかなか集まれなかったので、年内にみんなでわいわいやりたい。（福井市 60代）

断捨離をして家をすっきりさせたい。（大野市 20代）

娘のワンピースを作ろうと布を買ったのに、半年間そのまま。気合い入れて作ります。娘の身長が伸びて着れなくなる前に。（福井市 40代）

ふるさと納税。（福井市 40代）

投稿募集
投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「年賀状」です。年賀状の良さや枚数、困っていることなど、年賀状にまつわるエピソードを教えてください。
※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

スタッフ日記
10月半ば、急に寒くなって、慌てて冬物を引っ張り出した。今年は永遠に夏が続くかのような錯覚にとらわれるような長い残暑だった。寒いのは好きではない。なのに、秋冬が来るとほっとする気持ちもある。紅葉狩り、読書、冬の星空、雪原、温泉。これからの楽しみの数々を思い浮かべながら、お気に入りのセーターやコート、ひざ掛けの温かい手触りに心が和んだ。

今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

方応法募　①希望のプレゼント　②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業　③現在購読の新聞名　④地元のお薦めスポット　⑤読者からのお便りコーナー「年賀状」を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。
※④⑤は任意。

■はがき　［宛て先］〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内「さんぽみち嶺北12月号プレゼント」係
■メール　osanpo@fukuikoho-c.co.jp
■LINE（ライン）　さんぽみち公式アカウント ID：@059fzwww
↑LINEのお友だち登録はこちらから
お友だち募集中！
メール、LINEの場合は、件名または本文初めに「さんぽみち嶺北12月号プレゼント係」と入力してください
↑メールはこちらから
■ファクス　0776-28-8602（ファクスの応募は2021年12月末で終了させていただきます）

締め切りは11月26日（金）必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

A	悠久ロマンの杜	施設利用料 1,000円分	10人
B	農家レストラン	お食事券 500円分	3人
C	福井総合植物園 プラントピア	入園ペアご招待券（お2人さま入園料金無料）	3人
D	菓子処 阿んま屋（1,000円以上の買い物で使える）	お買物券 500円分	3人
E	越前町観光連盟	「越前の湯」の入浴剤5種類アソートセット	3人
F	ギフト&カフェ 和麗（あえら）いっぷく処	きびだんごセットお食事券（飲み物付き）	5人
G	蟹かに亭 水仙ランド店	「海鮮ちらし」お食事券	2人
H	伊自良たまご直営店coccoya	coccoyaのたまごプリン 4個セット引換券	3人
I	プラスジャックショップ	お買物券 1,000円分	5人